

長期保存・長期利用保証に関する課題の整理（検討用メモ）

第一次ヒアリングにおいて示された課題を以下にまとめた。

1 課題

（1）予算・人材の不足

- ・ヒト・カネ・スペース（デジタルの保存媒体の収蔵場所）の不足。
- ・デジタル化の予算が取れても、バックアップの予算が確保できない。
- ・マイグレーション費用が確保されていない。館内の理解を進める必要がある。
- ・目まぐるしい技術面及び法制面での変化に柔軟に対応可能なよう、一貫したポリシーを保つために必要な、常勤の人材及びポストの確保が必要。
- ・自組織で永久に保存できる仕組みがなくとも、どこかではデータが把握され、安定的にデータを管理できる体制の構築が求められる。

（2）方針・計画の不在

- ・保存方針・計画がなく、定期的なマイグレーションができていない。
- ・適切な保存及び利用に向けて、媒体変換等の判断基準となる指針が整備されていない。

（3）データの一元的管理が困難

- ・職員が撮影した画像や、プロジェクト毎に作成された雑多なデジタルコンテンツについて、データの一元管理ができていない。
- ・どのようなファイルがあるかの可視性の担保が難しい。
- ・組織内のデータの全体像が把握できていない（プロジェクトベースのデジタル化状況の把握は困難）。

（4）最適な保存方法が未確立

- ・オリジナルの忠実な再現を考えた場合、何を保存対象とするか、保存対象データをどのようにパッケージングするか、検討が必要。
- ・データの規格は、その都度強い業界によって左右される傾向にある。業界動向・技術動向を見極めて対応する必要がある。
- ・古いデジタル資料に関して、再現性を担保したマイグレーション方法の確立が必要。
- ・クラウドストレージを使う場合の指針がほしい。

（5）課題を共有・解決するためのコミュニティの不在

- ・日本語で記述された情報が少ないため、技術面等の調査のハードルが上がっている。
- ・課題を共有して一緒に解決していける国内のコミュニティがない。

（6）その他、困っていること

- ・バージョンの読取が不能になった場合の対応。
- ・ファイルフォーマットの旧式化への対応。
- ・管理する対象データのファイルフォーマットが多様であること。

2 課題の解決に向けて（本日議論いただきたい論点）

○デジタルデータの長期保存・長期利用保証を行う目的・意義は何か。

※長期保存・長期利用保証に取り組む必要性を訴えるために改めて確認したい。

○アーカイブ機関が踏まえておくべき、デジタルデータ管理の基本的な考え方は何か。

○アーカイブ機関がデジタルデータの長期保存・長期利用保証のために、最低限行うべき取組・事項は何か。

※「デジタルアーカイブアセスメントツール」にそれが盛り込まれているか。

○ガイドラインでは、どのような内容が共有されるべきか。